慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 西洋史研究第八輯(マキヤヴェリ號) |
| Sub Title | |
| Author | 近山, 金次(Chikayama, Kinji) |
| Publisher | 三田史学会 |
| Publication year | 1936 |
| Jtitle | 史学 Vol.14, No.4 (1936. 3) ,p.169(707)- 169(707) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 書評 |
| Genre | Journal Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19360300-0169 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

解釋がとられてゐる。されどこれは明かに異論の餘地があり、フランス革命の民主々義的原則とナポレオンの專制政治との相違を明かにせるオーラールの所說とも一致しない。

要ずるにフランス革命史專門の研究書としては右の不滿を禁じ得ないが、要領よく概括せられた近世歐洲政治史として一貫せる見地から述べられてゐるところに本書の價値が存するものと信ずる。本文四百二十頁、詳細な索引が附せられてゐるが、參考書目に出版年代の併記せられてゐないこと、問題の性質によるが前半殊に伏字多くして文義不通の箇所多きは一般向の參考書としてやゝ不適當なるをおそれるが、一般政治史、特にフランス革命史の研究方法の上に與へる示唆は決して少くない力作として推賞すべき好著である。（平山榮一）

## 西洋史研究第八輯（マキヤヴェリ號）

東北帝大の西洋史研究會は昭和十年度後期の事業としてマキヤヴェリの研究及び紹介を試みた。卷頭に大類伸氏の「マキヤヴェリと時代」があり、次で金倉英一氏が「Virtù に現れたるマキヤヴェリの國家思想」なる研究論文をのせられ、更に平塚、村岡、森脇、石井、宮崎、齋藤の諸氏がマキヤヴェリの「君主論」、「羅馬史論」、「戰術論」、「フロレンス史」、「書簡」等に關し、それぞれ懇切丁寧なる解說を試み、また祇園寺、萩中、村岡の三氏がマキヤヴェリに關する近世史家の研究を紹介されてゐる。卷末のマキヤヴェリ研究文獻（金倉氏）年表（照井氏）と相俟つて完全な一つの研究書にまとめられてゐることは誠に喜ばしい。ルネサンスの研究に缺くべからざるマキヤヴェリの知識を斯うした便利な姿で與へられると云ふことは西洋史研究者にとつて決して小さな喜びでは無い。昨年度西洋史學界に於て特に記憶せらるべき事業の一つであつたと言ふべきであらう。（近山金次）

## 雜誌『東洋史研究』の發刊

京都帝國大學文學部東洋史學科の卒業生を以て組織する東洋史研究會により、昨年十月創刊せられた「東洋史研究」は、その隔月刊行の豫定通り、十二月には前號にも增し充實した第二號を刊行せられたことを、先づ慶びたい。

東洋學・支那學の專門書は以前から存在したが、東洋史學の專門誌は本誌が最初であり、誇るべき古い傳統を背後に、新進氣鋭の二十數氏の結束は、必ずや斯界に淸新の氣を齎すものと期待してやまない。

その內容目次は

創刊號

晉・趙の北方進展と山川の祭祀　森鹿三

漢代大私有地に於ける小作者と奴隸の問題　宇都宮淸吉

最近五十年支那學界の回顧（アンリ・マスペロ）內藤戊申譯

聖成吉思汗の家譜　山本守譯

第二號

漢代蒼頭考　宇都宮淸吉